



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

## 凜としたなかにも優しさと親しみある公園を目指して

本郷ふじやま公園運営委員会 事務局長 辻 登

あけましておめでとうございます。富士山が美しく、門松が映えるお正月でした。

お蔭さまで、本郷ふじやま公園は今年開園13年目を迎えることが出来ました。これも、ご来園の皆さまと近隣の方々の温かいご支援のお蔭と感謝しております。そして会員の皆さまのご理解とご協力あつてのことと心よりお礼を申し上げます。併せて、運営委員会、栄区役所、栄土木事務所、環境創造局南部公園事務所のご指導ご協力に感謝申し上げます。



(梅林から28年元旦の富士を仰ぐ)

昨年末にある方から「公園に風格が出てきましたね」と言われ嬉しい思いをしました。そして改めて「風格」とは何だろうと考え辞書を引きました。「風格」とは「格式高い」「品格のある」などありますが、これは旧小岩井家住宅の建造物に対する評価は勿論のこと、私たちが行ってきた事業に対する評価でもあるのだろうと解釈しています。



皆さんの一つ一つの活動の積み重ねが公園の風格を作りだしているのだと思っています。今年も、凜とした中にも優しさと親しみのある、誰もが楽しめる公園を目指してまいります。

栄区は今年、区制30周年を迎えます。共に手を取り合せて事業を成功させたいと思います。

今年一年、皆様が健康であることをお祈り申し上げます。どうぞよろしくお願ひ致します。

## 開園13周年記念餅つき会

2月15日(月)はふじやま公園の開園記念日です。10時から記念式典と餅つき会を行います。

つきたての紅白餅を先着200名の来園者に進呈します。餅引換券は9時30分から配布します。皆さんで開園をお祝ください。



## ◆年末年始の伝統行事を開催！

年の瀬から年明けに欠かせない行事といえば、餅つきに七草粥。昔ながらの伝統行事が古民家エリアで開催されました。餅つきは12月20日(日)、七草粥は1月10日(日)、それぞれかつてないほど多くの人に参加して行われました。つきたての餅を食べて正月を迎える心構えをしたのも、お正月の締めくくりの七草粥を食べたのも、170年の伝統ある古民家主屋の板の間。前庭では羽根つき、こま回し、竹馬などの正月遊びも行われ、なつかしい光景と良き風習を満喫しました。



## “春の七草”が竹囲いの箱庭に



12月半ば、春の七草を植えた箱庭は孟宗竹より節がやや長いという真竹で美しく囲われ、古民家に相応しい設えとなりました。春の七草は知っていても草と名前が一致しないという方も多いのでは？名札も付いています。是非ご覧ください。

セリは水辺の山菜、ナズナは別名ぺんぺん草、ゴギョウは葉がピロード状で黄色い花が咲く。ハコベラは目に良い。ホトケノザはタンポポの様な黄色い花が咲く。スズナは蕪、スズシロは大根。1月下旬まで展示予定です。

## 昔のくらしシリーズ “たきぎ”

およそ100年前の一般家庭の生活に必要なエネルギーは木質燃料である「たきぎ(薪)」に頼っていました。各種の調査によれば江戸中期から大正期まで1人当たりの燃料の年間消費量は直径10cm、長さ30cmのたきぎ2千から3千本になります。このたきぎで主に食べ物の調理をしていました。

木質燃料として木炭がありました。一般庶民には高級品でした。町場や江戸市中ではたきぎを燃やすことは煙や火災の恐れがあり、炭の粉に土を混ぜて固めた炭団(だどん)が用いられました。

今でも古民家でも餅つきの時、もち米を蒸かすため土間のかまどでたきぎを燃やしています。そのたきぎは公園の林から集め、軒下で乾燥しています。



栄区で一番といわれるほど立派で豪勢な公園の門松。もちろんスタッフ有志の手作りなのだが、これには伝統の技が駆使されている。門松の土台を飾っている菰(こも)もその一つ。酒樽などにも巻いてある菰で、稲藁を菰(むしろ)とはまた違う編み方をしたものだが、作るのを見ているととっても簡単、単純そう。そんなものほど奥が深いもので、門松を引き立たせるまでになるのは年季がいきりそう。

さて今後継者をどうするか。年は改まったが悩みは尽きない。





## イヌツゲ モチノキ科

山地に生え、高さ 3~5mになる常緑樹。庭木としても植えられ、雌雄異株で花は 5~7 月、枝分かれしたところへ 2 cm程の白い花が 2~5 個咲く。雌株のみ実が付き実は割れずに秋、黒く熟す。これと同じ仲間と思われがちなツゲはツゲ科に属し類似しない。イヌツゲは成長が早く材の質が劣る一方、ツゲは成長が遅く硬い木から高級な木材として重宝される。また葉は対生(イヌツゲは互生)して生え、実が割れることで違いを見分ける。公園散策路に生育。



## 今年も文化財防火デーの訓練を行います

昭和 24 年 1 月 26 日、世界最古の木造建築物として知られる法隆寺の金堂から出火し、堂内の 7 世紀末ごろの貴重な仏教壁画の大半が焼損しました。これを機に、翌 25 年には文化財保護法が制定されました。30 年からは国民の文化財への愛護精神を高めるため、この日が文化財防火デーと定められ、今年も第 61 回になります。本郷ふじやま公園でも栄消防署と連携して防火訓練を行います。



1 月 26 日(火)10 時から古民家主屋を対象に、通報訓練、初期消火、救助訓練、消防自動車及び放水銃による放水、ドレンチャーの放水などを行います。その後、来園者による消火器の操作訓練を予定しています。古民家を未来に残すために、防火意識を一層高めましょう。

## 『いろいろ辺雑記』 から (原文のまま)

小さい頃に来たときよりも、じっくり見られました。  
 たたみと木のかおりがすてきで今とはまた違った快適さがあったのだろうと  
 思いました。また来る機会があればぜひ三月のひな人形をみたいです。(市内 10 代 家族と)



## 平成 28 年 2 月度ボランティア活動

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	5日(金)	古民家歴史部会 部会	14日(日)
農芸部会 部会	15日(月)	古文書解読勉強会	7日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	3日(水)
里山部会 作業	13日(土) 20日(土)	クリーンアップ	2日(火) 16日(火)
	28日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	10日(水)	ふじやまだより編集会議	7日(日)
子ども工作準備	適時	印刷	13日(土)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	28日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡下さい。

## 体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	2月21日(日) 10時～11時 " 13時～14時	小鳥の巣箱を作ってみよう(小学生、親子)	無料	当日先着順 各5名
押し絵/竹の子 (全2回)	3月 3日(木)13時～16時 3月17日(木) "	男の子が見つけた竹の子を作ります	1,500円	2月20日(土) 12名
七宝焼	3月 4日(金)13時～15時	彫金板に不透明釉薬を使ったブローチ	500円	2月20日(土) 10名
布細工/花見童子 (全2回)	3月23日(水)13時～16時 3月30日(水) "	桜を見上げる五人の小さな童子	1,000円	3月10日(木) 12名
里山のそば打ち塾	3月26日(土)10時～12時	美味しいそばを打てます 自分で作った物の試食	800円	3月12日(土) 10名
草木染	3月29日(火)13時～16時	シルクのストールを春色に染める	2,500円	3月 8日(火) 12名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて  
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

### ・・・お知らせ・・・

★ 古民家主屋座敷にお雛さまを飾ります  
江戸時代後期から平成まで10組以上を飾ります  
お雛さまの姿に時代の移り変わりをお楽しみください  
期 間：2月4日(木)～3月14日(月)



★ いろり端むかし話の会  
いろりの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでみませんか  
日 時：2月18日(木) 10時30分～11時30分  
場 所：古民家主屋いろり端  
定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 登録ボランティアを募集しています  
江戸時代の名主の屋敷を中心にした本郷ふじやま公園では、伝承行事の開催や手づくりが楽しめる工作棟があります。ご自分の希望に合った活動の場(部会)をお探してください。  
広報(ふじやまだより発行・H/P公開)、古民家歴史(歴史探訪・古文書解読)、里山(竹林整備・炭焼き)、工作棟(各種の体験教室)、農芸(農園と花壇)、囲炉裏焚き、クリーンアップの部会があります。お問合せは事務所へ直接か、下記電話番号へ。

★12月ふじやま公園来園者数 12月度来園者数 1,793名 27年度累計 18,393名

・開 館 時 間： 9時～17時
・入 館 料 料： 無 料
・休 館 日： 毎月第1水曜日(2月3日)
・クリーンアップ： 毎月第1・3火曜日 10時～11時 (2月2日、16日)

★本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593